

# RFID ミドルウェア アプライアンス “Easy TAP”

## 「EasyTAP」は正確かつ実用的な RFID タグ読取りと優れた拡張性を提供

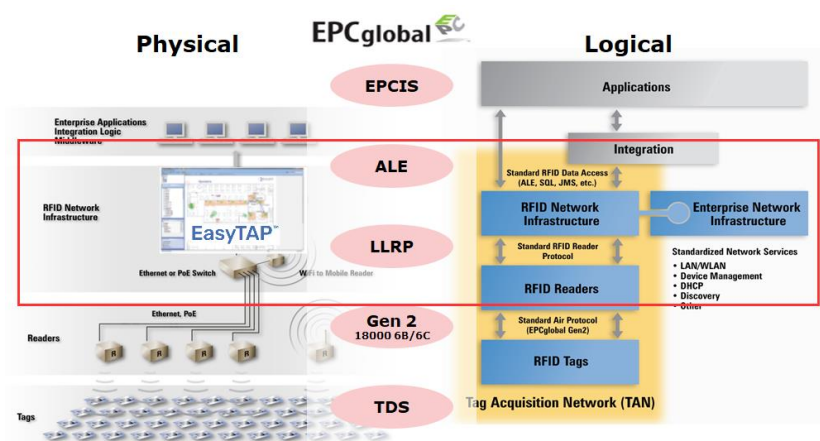
“EasyTAP”は RFID システム実装のポイントとなる RFID タグ読取り精度を高めるために、RFID アンテナ設置位置情報を正確に把握し、かつ独自のタグ読取り位置認識アルゴリズム(ロケーション バーチャリゼーション機能)と、タグ移動認識アルゴリズム(タグ トランジション機能)により、正確で実用的な RFID タグデータを収集し、上位アプリケーションへデータを受け渡します。

## 特長

- **独自アルゴリズムの採用**  
独自のタグ読取りロケーション判断とタグ移動認識判断アルゴリズムを採用し安定した読取りを実現します。
- **EPC Global 準拠**  
RFID リーダ通信“LLRP”・上位システム通信“ALE”をサポート、簡単な設定でリーダを動作させ、上位システムへ読取りタグデータを送信します。
- **稼動モニターと読取可視化**  
Easy TAP に標準装備されている、RFID 稼動モニター“マネージメントコンソール”やタグ読取りモニター“タグモニタリングツール”でシステムの可視化を実現します。画面イメージを参照下さい。

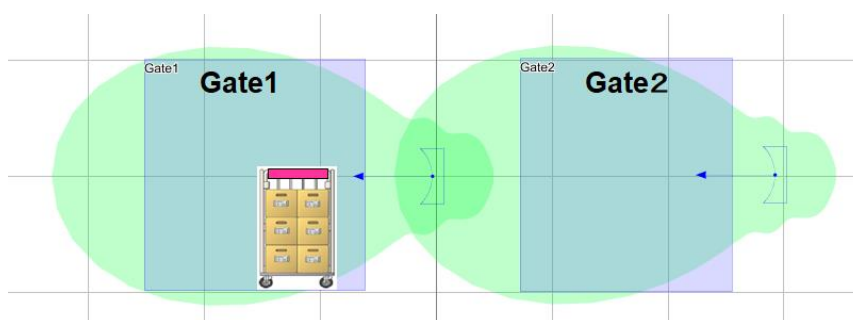
## システムアーキテクチャー

「EasyTAP」は、各種 LLRP リーダのコントロール機能に加え、独自アルゴリズムの採用により安定したタグ読取りを実現します。また、簡単な設定だけで上位システムへデータを受け渡す事が出来る高機能 RFID ミドルウェアです。



## 独自アルゴリズム(ロケーション バーチャリゼーション機能)

Gate1を搬送されているカゴ台車の商品タグは Gate1および Gate2の両リーダーで読み取られてしまう事があります。「EasyTAP」のロケーションバーチャリゼーション機能では、各々の RFID アンテナポジションを TAP が判断し、かつタグ読取り感度を考慮する事で、Gate1を通過した商品タグとして認識します。



## 冗長性

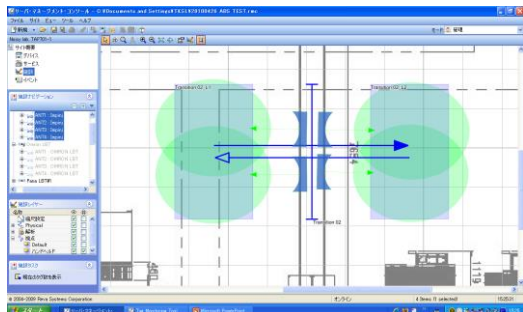
2 台の EasyTAP が稼働するシステムでは、1 台の EasyTAP がダウンした場合、他方の EasyTAP がその処理を全て引き継ぎます。RFID リーダ制御や上位システムへのデータ通信はそのまま継続されます。



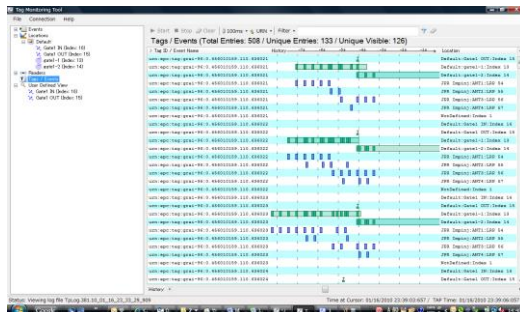
## 製品仕様

	EasyTAPVM
接続リーダ数	MAX80台
サポートリーダ	国内仕様: Any LLRP Reader / Impinj Speedway Revolution / Zebra RFID Reader
データサービス	EPCglobal Application Level Events (ALE)
タグ	EPC C1G2, ISO 18000-6C

## 画面イメージ



マネージメントコンソール



タグモニタリングツール